

— 街路樹と御池ビオトープを守り育てる —

まちなかオアシスだより

令和4年2月16日発行

〔実施日〕 令和4年2月15日(火) 9時30分から11時まで

〔参加者〕 木村、走り、東谷、斉藤（4名：敬称略）

〔ビオトープの整備・育成活動〕

〔作業前の状態〕

◇ 今年初めての整備作業です。新型コロナ「オミクロン」の感染が高止まりしている気が許せない状況の中での緊張した作業でした。

◇ 年末の清掃ではビオトープエリアの外回りを主体に落ち葉の清掃を行ないましたので、ビオトープ内にはかなりの落ち葉が溜まったままでした。またフジバカマ、ホトトギス、ミズヒキソウ、ジュズダマなど、季節的に立ち枯れしている草が目立っていました。

緑を保持しているものの、ヤブラン、ヒガンバナ、ツワブキなどは葉が茂り過ぎてその下が湿気の多い状態になっていました。

咲いている花はありませんが、ジンチョウゲがたくさん、そしてトサミズキが立派な蕾をそれぞれ付けていました。リュウキンカの開花が見られるのももうすぐです。

〔作業内容〕

3カ所のエリアに分かれてそれぞれのエリアに必要な作業を行ないました。

西側のエリアではその主体を為す低木類の剪定を行ない、中央と東のエリアでは落ち葉の清掃と枯れた植物の刈り込みまたは抜き取りを行ないました。

一部では落ち葉の下で腐ったような臭いを発していました。

ゴミ（回収した植物と落ち葉）の量：ボランティア袋7袋

発行者：まちなかオアシスの会

（構成：市民、近隣事業所、NPOビオトープネットワーク京都）

発行日：令和4年2月16日

【御池ビオトープは御池通りの室町～衣棚通り（北側）歩道にあります】